第１４回軽米町議会定例会

令和　７年　３月１３日（木）
午後　２時００分　　開　議

議　事　日　程

日程第　１	議案第　１号	軽米町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第　２	議案第　２号	軽米町企業版ふるさと納税基金条例 （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第　３	議案第　３号	軽米町国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例 （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第　４	議案第　４号	軽米町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例等の一部を改正する条例 （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第　５	議案第　５号	軽米町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第　６	議案第　６号	軽米町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例 （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第　７	議案第　７号	令和６年度軽米町一般会計補正予算（第９号） （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第　８	議案第　８号	令和６年度軽米町国民健康保険特別会計補正予算（第２号） （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第　９	議案第　９号	令和６年度軽米町水道事業会計補正予算（第３号） （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第１０	議案第１０号	令和７年度軽米町一般会計予算 （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第１１	議案第１１号	令和７年度軽米町国民健康保険特別会計予算 （令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第１２	議案第１２号	令和７年度軽米町介護保険特別会計予算

（令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第１３　議案第１３号　令和７年度軽米町後期高齢者医療特別会計予算
（令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第１４　議案第１４号　令和７年度軽米町水道事業会計予算
（令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第１５　議案第１５号　令和７年度軽米町下水道事業会計予算
（令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会付託）
日程第１６　議案第１６号　令和６年度軽米町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
日程第１７　請願陳情第６号　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求める請願について
（総務教育民生常任委員会付託）
日程第１８　請願陳情第７号　訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願
（総務教育民生常任委員会付託）
日程第１９　発議案第１号　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書
日程第２０　発議案第２号　訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書
日程第２１　議員派遣の件
日程第２２　人口減少・少子化対策調査特別委員会の閉会中の継続調査
日程第２３　議会改革調査特別委員会の閉会中の継続調査
日程第２４　委員会の閉会中の所管事務調査

○出席議員（１２名）

１番	田中祐典君	２番	甲斐鉦康君
３番	上山　誠君	４番	西舘徳松君
５番	江刺家静子君	６番	中村正志君
７番	田村せつ君	８番	茶屋　隆君
９番	大村　税君	１０番	細谷地多門君
１１番	本田秀一君	１２番	松浦満雄君

○欠席議員（なし）

○地方自治法第１２１条の規定により説明のために出席した者の職氏名

町長	山本賢一君
副町長	江刺家雅弘君
総務課長	日山一則君
政策推進課長	野中孝博君
政策推進課主幹	鶴飼義信君
会計管理者兼税務会計課長	寺地隆之君
町民生活課長	鶴飼靖紀君
健康福祉課長	竹澤泰司君
健康福祉課主幹	日向安子君
産業振興課長	小笠原隆人君
産業振興課主幹	輪達隆志君
地域整備課長	神久保恵蔵君
水道事業所長	神久保恵蔵君
教育委員会教育長	小林昌治君
教育委員会事務局教育次長	古舘寿徳君
教育委員会事務局主幹	輪達ひろか君
選挙管理委員会事務局長	日山一則君
農業委員会会長	山田一夫君
農業委員会事務局長	小笠原隆人君
監査委員	西山隆介君
監査委員事務局長	関向孝行君

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長	関向孝行君

議会事務局主任	竹林亜里君
議会事務局主事	山下海斗君

―――

◎開議の宣告

○議長（松浦満雄君）　皆さん、こんにちは。ただいまの出席議員は定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

これから本日の会議を開きます。

（午後　２時００分）

―――

◎諸般の報告

○議長（松浦満雄君）　本日の議事日程は、あらかじめ配布したとおりであります。

日程に入るに先立ち、諸般の報告をいたします。

本日付で町長から議案１件、総務教育民生常任委員長から２件の発議案の提出がありました。

また、人口減少・少子化対策調査特別委員会、議会改革調査特別委員会、議会運営委員会、総務教育民生常任委員会、産業建設常任委員会及び議会報編集常任委員会の各委員長から閉会中の継続調査申出書の提出がありました。

いずれも配布してありますので、朗読は省略いたします。

町長から追加提案された議案１件の取扱いについては、本日午後１時３０分より開かれた議会運営委員会において協議した結果、本会議場において審査することで協議が調った旨、議会運営委員長から報告がありました。

以上で諸般の報告を終わります。

―――

◎議案第１号から議案第１５号までの審査結果報告、質疑、討論、採決

○議長（松浦満雄君）　これより本日の議事日程に入ります。

日程第１、議案第１号　軽米町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例から日程第１５、議案第１５号　令和７年度軽米町下水道事業会計予算までの１５件を一括して議題といたします。

議案第１号から議案第１５号までの１５件について、特別委員会での審査の結果の報告を求めます。

令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会委員長、上山誠君。

〔特別委員長　上山　誠君登壇〕

○特別委員長（上山　誠君）　本定例会におきまして令和７年度軽米町一般会計予算等審査特別委員会に付託された案件は、議案第１号　軽米町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例から議案第１５号　令和７年度軽米町下水道事業会計予算までの１５件でありました。

当委員会は、３月６日から３月１１日まで４日間、役場３階会議室において当局

の出席の下、提案理由の補足説明を求めて審査が行われ、全ての議案で活発な議論がなされるとともに慎重な審議がなされました。

中でも議案第１０号　令和７年度軽米町一般会計予算についてでありますが、主な議論として、地域おこし協力隊推進事業の質問では、今までの隊員の活動状況やこれからの隊員の募集の在り方、退任後のことなどの説明がありました。また、地域おこし協力隊がいまるカフェの運営もしているとのことでした。役場職員数についての質疑では、正職員数が２０名ほど少ないなどの答弁がありました。観光推進事業関係の質疑では、雪谷川ダムフォリストパーク・軽米、森と水とチューリップフェスティバルの運営やチューリップ園の入園料について議論がなされました。各委員から終始活発な議論がなされました。

結果について報告します。一部の議案に反対がありましたので、採決は４回に分けて行いました。議案第１０号、議案第１１号、議案第１３号については賛成多数で可と決し、議案第１号から議案第９号までと議案第１２号及び議案第１４号と議案第１５号の１２件については全会一致で可と決したことを報告いたします。

○議長（松浦満雄君）　委員長の報告が終わりました。

これからただいまの委員長報告に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　質疑なしと認めます。質疑を終わります。

次に、討論を行います。討論については、特別委員会において全会一致で可と決した議案については討論なしとみなし、反対のあった議案第１０号、議案第１１号及び議案第１３号の３件について討論を求めることでご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

それでは初めに、議案第１０号　令和７年度軽米町一般会計予算について討論ありませんか。

原案に反対者の発言を許します。

江刺家静子君。

〔５番　江刺家静子君登壇〕

○５番（江刺家静子君）　５番、日本共産党、江刺家静子です。議案第１０号　令和７年度軽米町一般会計予算の案について反対の討論を行います。

町長の施政方針演述と、この一般会計の予算案について見てまいりました。物価高騰が町民の暮らしと営業に大きな打撃を与えています。この３０年間で国民年金保険料は２倍、介護保険料も２倍になり、年金は１０年前に比べて実質７．８％も減り、医療費も介護保険利用料も増加するなどの改悪が進められてきました。

町長は、施政方針演述の中で、軽米町の令和７年度の予算などについて、少子高

齢化や人口減少が急速に進み、労働力不足で地域経済の活力の低下を招いていると述べています。こういう状況のときの予算編成が本議会で提案されました。その中で気になったことがありまして、反対するものです。

町の基幹産業は農業としています。その対策は十分とは言えないと思います。農業委員会からの意見書もありました。今物価高騰で大変な農家の経営状況などから、国、県へ働きかけをしてほしいという要望もありました。町独自で国、県に要望してもすぐには解決しません。町独自で緊急の支援の予算化を積極的にするべきだと思います。農家所得の向上を図る取組を推進すると町長はおっしゃっています。このことが予算書においてはちょっと見つけることができません。物価高騰が長引いております。米不足問題、米の農家の問題、それから家畜を飼養している農家の飼料が高騰するなどの緊急を要する支援が必要であります。ぜひともこれを今の予算書に計上してほしかったと思います。

それから、物価高騰が長引いて、その対策としてどのようなことを考えているかということで、商品券の発行事業を令和７年度も行うということでした。しかし、金額からいっても金額が減っています。また、１枚１，０００円の商品券を買えないという人たちもいます。１回に１，０００円出せない。商品券にはお釣りが来ないので、商品券を買える、買えないというところでもまた家計の大変さが分かれてきます。町独自の生活困窮世帯への現実的な支援策を予算に反映してほしかったと思います。

それから、もう一つは、高齢化社会ということで、高齢者も安心して暮らせるようにということが掲げられておりますが、今軽米町では訪問介護を行う施設が２つあるということです。その１つが今経営の困難に差しかかり経営難ということで、閉所する方向であることが今回の議会で分かりました。町では、このことに対してどんな対策を検討したのでしょうか。議会の特別委員会の中でそのことが分かり、大変驚きました。訪問介護というのは、施設に入らないで、自宅で安心して訪問介護をしていただいて、住み慣れたところで暮らしていけるという大変いい制度なのですが、軽米町では山内地区に１か所あって、それから町の中心部に、訪問介護事業所いちいという名前だったかと思うのですが、そこがあります。そこは、町の中心部にありますので、東側にも西側にもヘルパーさんが行くことができます。広い軽米町内を山内地区にある事業者が全部回るということは、とても無理だと思います。ぜひともこの施設が存続するような対策をしていただきたいと思いますが、そのことについてどういう対策をしているのか。予算書についても反映がありませんでした。ぜひともこの訪問介護事業所が閉鎖に追い込まれないような対策といいますか、町で支援していっていただきたいと思います。物価高騰の折ということで、介護事業所などの職員の賃金引上げなどの国、県からの補助金などもありましたが、

それをどういうふうに使うかは町で考えているものかと思います。ぜひとも町独自の予算も考えながら、続けていけるように支援してほしいと願うものです。

かるまい文化交流センターについては、７万人を超える来館者があったということでした。本当にたくさんの方が来たのだなと思います。私も何回も利用させていただきました。いろんなものを見たり、また図書館に行ったりとか、私一人で何十回行ったか分かりません、１年のうちに。ですから、私は７万人のうちの何十人ということにもしかしたらなるかもしれません。しかしながら、一生一回も行くことがないという方も、行ってみたくても行けないという方もいらっしゃると思います。今回はバスの運行なども一般質問で取り上げましたが、そのことについての具体的ないい回答はありませんでした。

以上のようなことから、この一般会計予算案について反対ということで発言させていただきました。

○議長（松浦満雄君）　ほかに討論ありませんか。

原案に賛成者の発言を許します。

中村正志君。

〔６番　中村正志君登壇〕

○６番（中村正志君）　私は、先ほど反対討論のありました議案第１０号　令和７年度軽米町一般会計予算に対して賛成の立場で討論をさせていただきます。

議案第１０号　令和７年度軽米町一般会計予算は総額７０億７，０００万円で、前年度と比べて４億５，０００万円増の予算となっています。私たち町議会は、町長の具体的政策を最終的に決定する使命を与えられており、特別委員会を設置し、町長提案の令和７年度政策について、質問、質疑、修正等を通して政策形成過程に参画し、予算審議において最終的な政策の意思決定を行ってまいりました。私たち議会では、昨年、一昨年の１２月議会において、人口減少・少子化対策のための要望を２か年で合計９項目、町長へ提言してまいりました。

新年度である令和７年度の新規の目玉は、若者定住住宅整備事業です。若者世代用住宅や子育て世代住宅が不足しており、他市町村に住宅を求めて移り住んでいる人たちもいる現状打開のため、急務の課題となっておりますが、令和６年度に青少年ホーム解体に合わせて跡地利用の協議をされていたことは議会にも報告がありました。継続して令和７年度は設計業務、土地整備工事を予定し、今後具体化に向けて最終協議を進めるとのことです。子供の遊び場や公園など、全体像も含めて、町民の意見を聞きながら進めるという姿勢は大いに期待できるものです。

ほかに、婚姻届け時における記念撮影コーナーの設置や児童クラブの長期休業中における送迎タクシーの実施、スクールバス運行における意見交換の場の設置、軽米高校生への制服変更による購入補助の実施、東北拠点都市である仙台市周辺の軽

米町出身者による在仙軽米会の創設など、議会要望項目のほとんどが実施の方向で予算化されており、議会の政策提言が具体化されております。今後は、議会が最終決定した政策を中心に、事業実施や事務処理などに対し、公平、効率性、民主的になされているかどうかを批評し、監視することも議会の重要な使命ですので、町民の立場に立って批評、監視しなければなりません。

今議会における議案第１０号　令和７年度軽米町一般会計予算は、町税などの自主財源も確保しながら議会提言を盛り込んだ、まさに町政と議会が町民の期待に応えた予算と言えるのではないでしょうか。今後も、政策形成過程に議会としてもいろんな場面で積極的に参画し、町政、議会ともに町民の期待に応えられる事業の推進が期待されると感じられるものです。

令和７年度は、町村合併７０周年の記念すべき年です。記念事業も予定されておりますが、今後具体化に向けて検討すべき内容等も多々あるようです。７０周年を契機に、何とか人口減少、少子化の歯止めとなることを祈念し、議案第１０号　令和７年度軽米町一般会計予算の賛成討論といたします。

議員各位のご賛同をいただくことをお願いし、賛成討論を終わります。

○議長（松浦満雄君）　ほかに討論ありませんか。

原案に賛成者の発言を許します。

細谷地多門君。

〔１０番　細谷地多門君登壇〕

○１０番（細谷地多門君）　私は、議案第１０号　令和７年度軽米町一般会計予算について、賛成の立場から討論させていただきます。

令和７年度の一般会計予算については、昨年度に比べ６．８％、４億５，０００万円増の７０億７，０００万円の予算となっております。厳しい財政状況の中、歳入においては、町税をはじめとする自主財源の確保に努めるとともに、歳出予算においても事業の達成度や費用対効果の検証など事務事業の見直しを行い、地域活性化や福祉の向上など、重点配分に努めております。

特にも令和７年度は、人口減少や少子高齢化の急速な進展に対応するため、移住定住事業として新たに若者定住住宅整備事業の予算を計上し、これまでの移住定住推進事業と併せて取り組んでいく姿勢が強く見受けられます。また、子育て世代への支援の充実や農業政策では、本年度策定した地域計画の実現に向け、新たな助成制度を創設するなど、町の動向や社会情勢を踏まえながら、活性化に取り組む姿勢が強く感じられます。令和７年度においても歩みを止めることなく、町の将来像である「一人一人の活力と思いやりが循環するまち」の実現に向けて、一歩一歩確実に各種施策を推進する姿勢、固い決意が感じられます。江刺家議員の反対する部分は一体どの部分なのでしょうか。具体的な箇所が分かりませんし、見えません。

以上のことから、議案第１０号の令和７年度軽米町一般会計予算について賛成するものであります。議員各位のご賛同をよろしくお願い申し上げ、賛成討論といたします。

○議長（松浦満雄君）　ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　討論なしと認めます。議案第１０号の討論を終わります。

次に、議案第１１号　令和７年度軽米町国民健康保険特別会計予算について討論ありませんか。

原案に反対者の発言を許可します。

江刺家静子君。

〔５番　江刺家静子君登壇〕

○５番（江刺家静子君）　議案第１１号　令和７年度軽米町国民健康保険特別会計予算について、反対の討論を行います。毎回同じようなことを私は言っておりますが、時間をいただいて、反対の意見を述べさせていただきます。

国民健康保険税は、協会けんぽなどの被用者保険と比べて著しく高くなる大きな要因になっているのは、国保にしかない均等割、平等割という保険料算定があります。被用者保険の保険料は、収入に保険料率を掛けて計算するだけですが、家族の人数が保険料に影響することはありません。ところが、国保税については、所得金額に応じてかかる所得割、固定資産税の額に応じてかかる資産割のほかに、世帯員の数に応じてかかる均等割、各世帯に定額でかかる平等割が合算して算定されます。このうち資産割、平等割は、自治体の判断で導入しないことも可能です。均等割は、法律で必ず徴収することが義務づけられていますが、今子供が減少しているとき、また物価高騰、不況などのこともあって、岩手県内でも未就学児または１８歳までの子供の均等割を減免している市町村があります。例えば軽米町が未就学児の均等割を全額免除するとしたら、１８万９，０００円の財源があればできることです。子供の数が多いほど保険税は引き上がる、この均等割はまるで人頭税、子育ての支援に逆行しているという批判の声があります。

軽米町は、子育て支援日本一のまちづくりを目指しているまちです。全国の知事会などの地方団体からも、均等割の見直しの要求が出されています。全国で均等割、平等割として徴収されている保険税はおよそ１兆円です。全国知事会でこのことに対して、国に対してこの１兆円の援助を国保に投入するよう要望しているところです。所得割の保険料の引下げや低所得世帯に重い資産割がかかる問題の改善など、各自治体の負担軽減が望まれるところですが、軽米町でも、ぜひともせめて子供の均等割、１８歳まで免除してほしいということを私は望みながら、この件に関して、この予算案に反対するものです。

以上です。

○議長（松浦満雄君）　ほかに討論ありませんか。ないですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　討論なしと認めます。議案第１１号の討論を終わります。

次に、議案第１３号　令和７年度軽米町後期高齢者医療特別会計予算について討論ありませんか。

原案に反対者の発言を許します。

江刺家静子君。

〔５番　江刺家静子君登壇〕

○５番（江刺家静子君）　議案第１３号　令和７年度軽米町後期高齢者医療特別会計予算について、反対の討論を行います。

後期高齢者医療保険制度は、２００８年４月から始まりました。２年ごとに保険料の見直しが行われ、昨年が改定の時期でした。そもそも７５歳以上は、他の年齢より病気を抱えることが多くなり、その年齢で強制的に切り分けた後期高齢者医療制度は、医療費が増え続けることが前提の医療制度となり、その構造も問題です。年金で暮らす高齢者に生活困窮を、さらなる追い打ちをかけるものです。また、後期高齢者は、町の健診などを受けたときも、受ける項目が減るという差別的な制度です。この制度に対して反対するものであります。

そのことから、今回のそのことによって編成された後期高齢者の議案に反対するものです。

以上です。

○議長（松浦満雄君）　ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　討論なしと認めます。

以上で討論を終わります。

これから採決を行います。一部に反対がありましたので、採決は４回に分けて行います。

議案第１０号、議案第１１号及び議案第１３号をそれぞれ１件ずつ、議案第１号から議案第９号までと議案第１２号、議案第１４号及び議案第１５号の合わせて１２件の４回です。

議案第１０号　令和７年度軽米町一般会計予算を採決します。この採決は起立によって行います。

議案第１０号に対する委員長の報告は可決とするものです。議案第１０号を原案のとおり可決とすることに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（松浦満雄君）　起立多数です。

よって、議案第１０号　令和７年度軽米町一般会計予算は原案を可決とすることに決定しました。

議案第１１号　令和７年度軽米町国民健康保険特別会計予算を採決します。この採決は起立によって行います。

議案第１１号に対する委員長の報告は可決とするものです。議案第１１号を原案のとおり可決とすることに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（松浦満雄君）　起立多数です。

よって、議案第１１号　令和７年度軽米町国民健康保険特別会計予算は原案を可決とすることに決定しました。

議案第１３号　令和７年度軽米町後期高齢者医療特別会計予算を採決します。この採決は起立によって行います。

議案第１３号に対する委員長の報告は可決とするものです。議案第１３号を原案のとおり可決とすることに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（松浦満雄君）　起立多数です。

よって、議案第１３号　令和７年度軽米町後期高齢者医療特別会計予算は原案を可決とすることに決定しました。

次に、議案第１号　軽米町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例から議案第９号　令和６年度軽米町水道事業会計補正予算（第３号）までと議案第１２号　令和７年度軽米町介護保険特別会計予算、議案第１４号　令和７年度軽米町水道事業会計予算及び議案第１５号　令和７年度軽米町下水道事業会計予算の１２件を一括して採決します。

お諮りします。議案第１号から議案第９号までと議案第１２号、議案第１４号及び議案第１５号の１２件に対する委員長の報告は可決とするものです。議案第１号から議案第９号までと議案第１２号、議案第１４号及び議案第１５号の１２件は、委員長の報告のとおり原案を可決とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

よって、議案第１号　軽米町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例から議案第９号　令和６年度軽米町水道事業会計補正予算（第３号）までと議案第１２号　令和７年度軽米町介護保険特別会計予算、議案第１４号　令和７年度軽米町水道事業会計予算及び議案第１５号　令和７年度軽米町下水道事業会計予算の１２件は、原案のとおり可決されました。

―――

◎議案第１６号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（松浦満雄君）　日程第１６、議案第１６号　令和６年度軽米町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町民生活課長、鶴飼靖紀君。

〔町民生活課長　鶴飼靖紀君登壇〕

○町民生活課長（鶴飼靖紀君）　議案第１６号　令和６年度軽米町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）の提案理由についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ６０２万４，０００円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ１億２，９１０万１，０００円とするものでございます。

歳入の内容につきましては、３ページを御覧ください。歳入予算の１款後期高齢者医療保険料でございますが、調定額の確定によりまして、１目特別徴収保険料を４７５万４，０００円減額し、２目普通徴収保険料現年分を１，０８１万２，０００円増額し、滞納繰越分を３万４，０００円減額とするものでございます。保険料合わせまして６０２万４，０００円を増額するものでございます。

また、４款繰越金について、前年度の繰越金が確定したことにより１８万４，０００円増額し、３款繰入金、１項一般会計繰入金、１目事務費繰入金を同額１８万４，０００円減額するものでございます。

歳出予算につきましては、４ページを御覧ください。２款後期高齢者医療広域連合納付金でございますが、先ほど歳入予算で説明いたしました保険料の増額に伴い、広域連合への納付金を６０２万４，０００円増額するものでございます。

本日提出させていただきました本補正予算につきましては、増額となった保険料について、広域連合への納付金支払いに支障のないように、追加議案としてお願いするものでございます。広域連合から示される保険料データに基づき町で保険料額を決定しておりますが、予算計上額との確認がしっかりとされておりませんでした。大変申し訳ございません。

議案第１６号につきまして、ご審議の上、ご議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（松浦満雄君）　提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　質疑なしと認めます。質疑を終わります。

次に、討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第１６号　令和６年度軽米町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）を採決します。この採決は起立によって行います。

議案第１６号　令和６年度軽米町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（松浦満雄君）　起立全員です。

したがって、議案第１６号　令和６年度軽米町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）は、原案のとおり可決されました。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

◎請願陳情第６号の報告、質疑、討論、採決

○議長（松浦満雄君）　日程第１７、請願陳情第６号　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求める請願についてを議題といたします。

常任委員長の報告を求めます。

総務教育民生常任委員長、上山誠君。

〔総務教育民生常任委員長　上山　誠君登壇〕

○総務教育民生常任委員長（上山　誠君）　総務教育民生常任委員会に付託されておりました請願陳情第６号　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求める請願についての審査結果を申し上げます。

本請願については、令和６年１２月の定例会より継続審査を行っていたものであり、全委員出席の下、慎重に審査をいたしました。

教職員の勤務環境の改善と一人一人の子供に十分向き合える環境の整備、子供たちの豊かな学びを保障するために、給特法の廃止及び学校の働き方改革を求める意見書を国の関係機関へ提出することを求める請願について、審査の結果、請願趣旨を了とし、全委員の賛成により採択と決したことを報告いたします。各議員のご賛同方よろしくお願いいたします。

○議長（松浦満雄君）　委員長の報告が終わりました。

これからただいまの委員長報告に対し質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　質疑なしと認めます。質疑を終わります。

次に、討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　討論なしと認めます。討論を終わります。

これから請願陳情第６号　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求める請願についてを採決します。

お諮りします。請願陳情第６号に対する委員長の報告は採択とするものです。請願陳情第６号は委員長の報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

よって、請願陳情第６号　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求める請願については、委員長の報告のとおり採択することに決定しました。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

◎請願陳情第７号の報告、質疑、討論、採決

○議長（松浦満雄君）　日程第１８、請願陳情第７号　訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願を議題といたします。

常任委員長の報告を求めます。

総務教育民生常任委員長、上山誠君。

〔総務教育民生常任委員長　上山　誠君登壇〕

○総務教育民生常任委員長（上山　誠君）　総務教育民生常任委員会に付託されておりました請願陳情第７号　訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願についての審査結果を申し上げます。

本請願につきまして、３月６日、全委員出席の下、慎重に審査いたしました。

介護事業者の経営環境及び介護職員の処遇の改善を実現し、在宅介護の基盤を存続させるため、訪問介護の基本報酬をはじめとした介護報酬の引上げを早急に行うよう求める意見書を国の関係機関へ提出することを求める請願について、審査の結果、請願趣旨を了とし、全委員の賛成により採択と決したことを報告いたします。議員各位のご賛同方よろしくお願いいたします。

○議長（松浦満雄君）　委員長の報告が終わりました。

これからただいまの委員長報告に対し質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　質疑なしと認めます。質疑を終わります。

次に、討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　討論なしと認めます。討論を終わります。

これから請願陳情第７号　訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの

再改定を早急に行うことを求める請願を採決します。

お諮りします。請願陳情第７号に対する委員長の報告は採択とするものです。請願陳情第７号は委員長の報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

よって、請願陳情第７号　訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願は、委員長の報告のとおり採択することに決定しました。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

◎発議案第１号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（松浦満雄君）　日程第１９、発議案第１号　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書を議題といたします。

常任委員長の提案理由の説明を求めます。

総務教育民生常任委員長、上山誠君。

〔総務教育民生常任委員長　上山　誠君登壇〕

○総務教育民生常任委員長（上山　誠君）　発議案第１号　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提案理由を申し上げます。

本議案は、国において教職員の勤務環境の改善を進め、教職員が一人一人の子供に十分向き合える環境の整備と子供たちの豊かな学びを保障するため、政府関係機関に意見書を提出するものです。

意見書については配布しておりますので、前文は割愛し、要望項目を申し上げます。

１、「給特法」を廃止し労働基準法を完全適用とすること。

２、実効性ある学校の働き方改革をすすめる観点から、国として具体的業務削減策を示すこと。

以上、２項目について、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣宛てに提出することといたします。

発議案第１号について、軽米町議会会議規則第１４条第３項の規定により提出いたします。議員各位のご賛同方よろしくお願いします。

○議長（松浦満雄君）　提案理由の説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　質疑なしと認めます。質疑を終わります。

次に、討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　討論なしと認めます。討論を終わります。

これから発議案第１号　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書を採決します。

発議案第１号は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

よって、発議案第１号　「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書は、原案のとおり可決されました。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

◎発議案第２号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（松浦満雄君）　日程第２０、発議案第２号　訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書を議題といたします。

常任委員長の提案理由の説明を求めます。

総務教育民生常任委員長、上山誠君。

〔総務教育民生常任委員長　上山　誠君登壇〕

○総務教育民生常任委員長（上山　誠君）　発議案第２号　訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提案理由を申し上げます。

本議案は、介護事業者の経営環境及び介護職員の処遇の改善を実現し、在宅介護の基盤を存続させるため、訪問介護の基本報酬をはじめとした介護報酬の引上げを早急に行うよう、政府関係機関に意見書を提出するものです。

意見書については配布しておりますので、朗読は割愛させていただきます。

発議案第２号について、軽米町議会会議規則第１４条第３項の規定により提出します。議員各位のご賛同方よろしくお願いいたします。

○議長（松浦満雄君）　提案理由の説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　質疑なしと認めます。質疑を終わります。

次に、討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　討論なしと認めます。討論を終わります。

これから発議案第２号　訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再

改定を早急に行うことを求める意見書を採決します。

発議案第２号は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

よって、発議案第２号　訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書は、原案のとおり可決されました。

―――

◎議員派遣の件

○議長（松浦満雄君）　日程第２１、議員派遣の件を議題といたします。

この議員派遣の件については、軽米町議会会議規則第１２１条の規定により、議員を派遣しようとするときは議会の議決でこれを決定することになっております。

お諮りします。配布しております令和７年度議員派遣一覧表のとおり、令和７年度の議会閉会中における各種会議、議員研修及び調査等に本議会の議員を派遣したいと思います。また、派遣議員については、その都度議長が指名することにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

よって、令和７年度議会閉会中における各種会議、議員研修等への派遣については、令和７年度議員派遣一覧表のとおりとし、派遣議員についてはその都度議長が指名することに決定しました。

お諮りします。議員派遣一覧表以外に議員の派遣の必要が生じた場合は、その都度議長において議員の派遣を決定したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

よって、議員派遣一覧表以外に議員の派遣の必要が生じた場合は、その都度議長において議員の派遣をすることに決定しました。

―――

◎人口減少・少子化対策調査特別委員会の閉会中の継続調査

○議長（松浦満雄君）　日程第２２、人口減少・少子化対策調査特別委員会の閉会中の継続調査を議題とします。

人口減少・少子化対策調査特別委員長から会議規則第７５条の規定によって配布いたしました申出書のとおり、閉会中の継続調査の申出がありました。

お諮りします。人口減少・少子化対策調査特別委員長からの申出書のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

よって、人口減少・少子化対策調査特別委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

―――

◎議会改革調査特別委員会の閉会中の継続調査

○議長（松浦満雄君）　日程第２３、議会改革調査特別委員会の閉会中の継続調査を議題とします。

議会改革調査特別委員長から会議規則第７５条の規定によって配布いたしました申出書のとおり、閉会中の継続調査の申出がありました。

お諮りします。議会改革調査特別委員長からの申出書のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

よって、議会改革調査特別委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

―――

◎委員会の閉会中の所管事務調査

○議長（松浦満雄君）　日程第２４、委員会の閉会中の所管事務調査を議題といたします。

お諮りします。議会運営委員会、総務教育民生常任委員会、産業建設常任委員会及び議会報編集常任委員会の各委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（松浦満雄君）　異議なしと認めます。

よって、委員会の閉会中の所管事務調査は、議会運営委員会、総務教育民生常任委員会、産業建設常任委員会及び議会報編集常任委員会の各委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

これで今定例会の日程は全部終了しました。

―――

◎町長挨拶

○議長（松浦満雄君）　ここで町長から発言を許されたい旨の申出がありました。これを許します。

町長、山本賢一君。

〔町長　山本賢一君登壇〕

○町長（山本賢一君）　議長の許可をいただきましたので、第１４回軽米町議会定例会が閉会されるに当たり、ご挨拶を申し上げます。

本定例会は、２月２７日に開会以来、本日までの１５日間にわたり開催されたところであります。本定例会には、人事同意案１２件、人権擁護委員の推薦に関し意見を求める諮問２件、条例の制定及び一部改正に関する議案６件、一般会計ほか補正予算に関する議案４件、令和７年度一般会計ほか当初予算に関する議案６件の合わせて３０件の議案を提出させていただきました。

議員各位におかれましては、終始熱心にご審議をいただき、全議案についてご議決賜りましたことを心から感謝申し上げる次第であります。

さて、本定例会におきましては、令和７年度当初予算の重点施策主要事業等につきまして、熱心にご議論いただきました。その中でも、人口減少対策として進める移住定住施策の新たな取組である若者定住住宅整備事業や防災体制の整備充実、水田農業の推進をはじめ、遊休農地対策など農業振興について、またかるまい文化交流センターの今後の管理運営など、たくさんのご意見、ご提言を賜りました。

一般質問におきましては、町政の各分野につきまして多数のご質問をいただきましたが、いずれも真摯に受け止め、現状並びに課題の所在を十分に認識するとともに、議案審議中に賜りましたご意見、ご提言を配慮しつつ、今後の町勢発展のため努めてまいります。

つきましては、今後におきましても議員各位のご協力、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

簡単でございますが、本定例会の閉会に当たってのご挨拶とさせていただきます。大変ありがとうございました。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

◎閉会の宣告

○議長（松浦満雄君）　会議を閉じます。

これをもって第１４回軽米町議会定例会を閉会します。ご苦労さまでした。

（午後　２時５７分）